



第18回日本レーザー医学会総会

会長：新潟大学・歯科第二補綴学 草刈 玄 教授

大会は一般公演、招待公演、特別公演、大会長公演、シンポジウム、プレミナリーセッションで構成された。特別講演はUCLA歯学部病理学教室のL. R. Evasole先生による「An Er, Cr:YSGG laser hydro-kinetic system for dentistry and medicine: Review of affects on biocalcified and soft tissues」と日本レーザー医学会会長の井上鐵三先生（国際医療福祉大学耳鼻咽喉科教授）、追加発言者として菊地眞先生（防衛医科大学校医用電子工学教授）による「レーザー医学 日本の現状と将来への指針」という演題で行われた。また、同じく特別講演として日本レーザー医学会名誉会長の渥美和彦先生（鈴鹿医療科学技術大学学長）による「レーザー医学 世界の動向と将来への提言」が行われた。大会長講演は草刈教授が「レーザー医学 歯科領域における現状と将来への期待」と題して、歯学領域におけるレーザーの応用に関して総説に関して講演を行なった。

現在の教室医局員
よりの文章(原文のまま)

